

駅西ブロック 第38回ブロック部会 議事要旨	
開催日時	平成31年3月4日(月) 午後8時～9時40分
開催場所	上十条区民センター「上十条ふれあい館」第1ホール
出席者	<p>【部会役員】 阿部部会長(十条仲原一丁目会長) 石原副部会長(十条富士見銀座商店街振興組合理事長) 染谷役員(上十条二丁目町会長) 上福元役員(十条銀座商店街振興組合理事長) 山本役員(いちょう通り十条駅西口商店会長)</p> <p>【事務局】 十条まちづくり担当課: 石本課長、井越、山崎、木下、鈴木、小栗 連続立体交差事業担当: 市川副参事 コンサルタント(都市計画同人): 立野、三苫</p> <p>【オブザーバー】 十条駅西口再開発組合事務局: 鈴木事務局長、菊池 株式会社トーニチコンサルタント: 岡田、望月、本村、河合</p>
参加者	8名(部会役員を除く)
議題等	<p>議題 ○十条駅前広場計画(案)について</p>  <p>【第38回駅西ブロック部会の様子】</p>

議事要旨

----- 駅西ブロック部会長あいさつ -----

本日は、お足下の悪い中、お集りいただき、ありがとうございます。ブロック部会も回を重ねること、本日で第38回となりますが、これより駅西ブロック部会を開催させていただきます。

各テーブルに図面等が置かれていますが、前回の部会から引き続き、駅前広場について、グループ形式での意見交換を行いたいと思います。地元の我々にとっては使いやすく、かつ他から来られた方が楽しんでいただけるには、どうしたら良いかと言う点について、前向きに検討していただければと思います。

なお、限られた時間ですので、スムーズな進行にご協力ください。宜しくお願いします。

○議題

----- 十条駅前広場計画(案)について -----

■(株)トーニチコンサルタントから、十条駅前広場計画(案)について説明があった。

1. 関係機関協議による変更点

前回(2018/10/24)までのロータリー形状について、以下の点に変更された。

- ・将来のバスの乗入れを想定し、ロータリーの2箇所一般車の乗入れ規制部(ゼブラゾーン)を想定していたが、南側を廃止し、一般車の乗降スペースとした。
- ・タクシープールの形状を変更し、台数を15台から7台とした。

2. 各施設と植栽

(1) シェルターについて

見た目、耐候性や耐火性の観点から、アルミ屋根を採用。

透光性の観点では、ガラスとの組合せを検討する。

(2) 横断抑止柵について

支柱や横パイプは丸形にして、柔らか味のあるデザイン。

ロータリーに面した滞留・出迎え空間には腰掛けることができるもの。

(3) ベンチについて

みどりの軸(線路側の範囲)における樹木の周りに、温かみのある再生木材を利用したサークルベンチを設置する。

(4) 歩道舗装について

インターロッキングブロックですが、雨天でも滑りにくい表面スリット加工のものを主とし、部分的に天然石研磨を施したものを使用する。

(5) 植栽について

①駅前広場へと繋がる道路部は、四季を楽しむことのできる落葉樹

[ハナミズキ][ドウダンツツジ]など

②ロータリー内の交通島は、象徴となるようなみどりとシンポルツリー

[シダレザクラ][シャリンバイ]など

③みどりの軸（線路側の範囲）は、一年を通してみどりを提供する常緑樹

[ソヨゴ][カクレミノ]など

④地下駐輪場エレベーター付近は、見た目の印象を和らげるとともに、賑わいの空間として華を添える意味合いから、花の咲く樹木

[ハナミズキ]など

3. 公衆トイレ

男子トイレは洋便器1、小便器2、女子トイレは洋便器2とし、だれでもトイレにはオストメイトを設置する。その他に、子ども連れにやさしい設備（ベビーシート、ベビーチェア）を設置する。

■北区から前回の部会で意見交換を行った「にぎわいの創出」や「防災機能」について、今後の方針について、説明があった。

1. にぎわいの創出について

既存の主要なイベントである盆踊り大会、イルミネーションの継続を前提に関係町会・商店街とハード面での協議を進めていく。

日常的なにぎわいについては、集客という観点から、再開発ビルや商店街との連携による仕掛けづくりを目指す。ただし、再開発ビル等の商業施設が決まっていない段階であり、現時点では具体的なご提案は出来ないが、今後連携した対応を進めるということでご理解いただきたい。

周辺大学との連携は、ブロック部会の構成委員でもある東京家政大学をはじめ、東京成徳大学、帝京大学で構成される三大学協議会において、駅前広場の利活用について検討を始めた。過年度調査では、在学生の意見として、地域イベント参加のニーズが高い。今後はサークル活動発表の場としての利活用や学園祭の二次会場的な利用等、具体的な内容の検討を進めていく。

2. 防災機能について

前回、既存の避難計画との整合性を図るべきではないかのご意見があり、検討した。地域防災計画に指定されている「いっとき集合場所」は、【十条仲原一丁目は雪峰院前】【十条仲原二・四丁目は王子第三小学校】【上十条二丁目は指定なし】となっている。

上十条二丁目は王子第五小への直接避難が可能であるとの判断によるものと思われる。

また、駅前広場の防災機能を考えると、当地の地理に不案内な駅利用者の避難誘導を重点的に検討していくことが必要と考えられる。

そうした中で必要な物としては、夜間の避難にも役立つように、安全確保の観点からソーラーや風力発電による防災照明、液晶掲示板を活用した情報発信としてのデジタルサイネージが考えられる。

以上の説明を受けました。

■質問事項

(参加者) インターロッキングブロックは、段差ができて、障害者等に向かないのではないかとの話がありましたが、今回の説明ではバリアフリー上、良いとのことで、どうなのか気になります。にぎわいの空間として、どのような計画としたいと考えられたのか。前回、再開発ビルや鉄道の高架で、日照時間が短いので、落葉樹の方が良いのではないかという話があったが、ハナミズキやシダレザクラ等、花の咲く樹木を植えるとのことだが、日照などのシミュレーションをした上でのご提案なのかが知りたい。

(コンサル) 植栽の件では、高架については、現時点では詳しい情報がないものの、駅前広場が真っ暗な状態になるわけではない。みどりの軸（線路側の範囲）の常緑樹については問題ないと考えている。駅前広場へと繋がる道路部の落葉樹も再開発ビルや高架と距離が離れていることから、十分に生育可能と考えている。シダレザクラについては、土を盛り上げる等で対応する。

(参加者) 植物の生育上、必要な要素から見て十分に生育出来るのか、心配している。

(コンサル) 生育環境によるシミュレーションを行なった上での提案ではない。

(北 区) インターロッキングブロックの段差ですが、レンガ形状のものを敷き詰めた場合に発生し易い。この計画ではレンガ形状のものではなく、表面処理を施した面の広いものを用いるため、ガタツキ等の影響は少ないと考えている。駅前広場は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）に基づく整備を行う。にぎわいの空間の構築で、特に日常的な集客は、関連部署との協議でも、区単独での対応は難しいとのことで、官民・産学連携による継続的な活動を検討する必要がある。現時点では、様々な活動を想定した空間を確保しつつ、今後皆様からのご意見をいただきたい。

(参加者) 駅前広場のタクシープールや交通島と言われている部分を、盆踊りに使いたいと言った場合対応は出来るのか。

(北 区) タクシー事業者団体とは協議しており、対応可能との回答を頂いている。

(参加者) 町会や商店街で新たに駅前広場を使いたいと言った場合は、どうなのか。

(北 区) そうしたご要望があれば、道路使用に係る関連機関との協議を、十条まちづくり担当課として事前に対応していく。

(参加者) 盆踊りは十条地区の文化なので、これだけは継続できるようにしていただきたい。

(コンサル) 本日は、その盆踊りの件も含めてご意見をいただきたい。

(参加者) 駅前広場にバスが入るとのご説明があったが、詳細を知りたい。

(北 区) バス事業者を確認したところ、将来、踏切解消等により、運行ダイヤに余裕が生じれば駅前に導入したいとの意向であった。

(参加者) 駅前広場は、地元住民の憩いの場であり、車優先の場ではないと思う。

(コンサル) ご意見として承ります。

■グループ形式での意見交換

(コンサル) 各テーブルには2枚の図面がありますが、こちらの図面は、現在の駅前広場とご提案している駅前広場の計画を重ね合わせたものです。おおよその面積で見えていくと、現在の駅前広場の面積は2,300㎡、計画の駅前広場の面積は4,300㎡と2倍近くに広がりますが、車道部分は1,300㎡から1,100㎡、交通島は400㎡と変わらず、歩道は600㎡から2,800㎡と、駅前広場の区域拡大はその全てが歩道部分に資するものです。

また、盆踊りにおけるご意見をいただくため、現在の盆踊りで使用しているヤグラ等の紙模型もご用意いたしましたので、新たな駅前広場で開催する盆踊り開催時のご意見をお寄せいただければと考えております。

グループ形式で出された主な意見を以下に掲載します。

◆A班における主な意見

- ・ヤグラの位置はタクシープールの中心にならざるを得ない。
- ・お祭りはこのまちの文化なので、これまで通り開催できるような形でなければならない。
- ・タクシープール部分の舗装はヤグラを建てられる舗装なのか。

⇒今のロータリーと同じくアスファルト舗装になる【北区】

- ・やぐらを作り直すことも検討する必要がある。その場合、材質はどうか。
- ・駅を出て正面がタクシーのたまり場というのは印象が良くない。
- ・にぎわいは外の人々の来街ではなく、まちの住民によるものでなければならない。
- ・どうしてもタクシー中心のまちという印象になる。そもそもタクシープールを設けなければならないのか。

⇒タクシー利用に不便になれば、高齢者や身体の不自由な方の駅利用が減少していく。タクシー乗り場が必要ならば、タクシープールは必然的に必要となる【コンサル】

- ・駅前タクシーの必要性を議論しているのではなく、タクシープールの位置がここでのいいのかという議論をしている。端に寄せたり、二層にする等のアイデアが欲しい。

⇒今回の案は、歩道を広くした上でタクシープールを設ける場合の案である。歩行者の空間・利便性を確保し、歩車分離にも配慮しており、タクシー中心ということには当たらない【コンサル】

- ・計画案の乗車場所と降車場所を逆にした方がいいかもしれない。現状では、降車するタクシーは、駅に近い乗車場所を通過して駅から遠い降車場所まで行く形になる。タクシー利用者は、駅前で降ろしてくれないことにストレスを感じるようになる。
- ・これまで通り、お祭りでヤグラが建てられ、提灯が吊るせるということが重要だ。
- ・シャリンバイの部分は立ち入りできないようにするのではなく、芝生にして必要なときには使えるような工夫ができないか。
- ・近隣の他のお祭りで、若い者が酒を飲んで集まりトラブルを起こした。開放部分を作ると、その様な問題も起きる。

◆A班における意見のまとめ

①駅前広場について

- ・タクシー乗降場所およびタクシープールの必要性には、概ね同意だが、「存在感が大きすぎる」といった理由で、再考を求める意見もある。
- ・個別の施設に対する大きな改善点等の意見は無かった。

②盆踊り等について

- ・ヤグラの位置や新設する場合の材質に関する議論はあったが、「これまで通りお祭りを開催できる」ということが確認され、概ね問題ない。

◆B班における主な意見

- ・イルミネーションの設置位置はどうか。

⇒現在支柱としている時計が移動するため、支柱建込等の検討は必要【北区】

- ・これまでの盆踊りを見ている限り、屋台等の位置も含めて、十条銀座商店街に繋がる道路の北西側が混んでいたため、タクシーの台数が減らせるのであれば、南側のにぎわいの広場を狭め、北側の空間を広げるべきではないのか。

⇒北側歩道は広くなり南側の広場もできるので、全体配置で再考できると考える【コンサル】

⇒使い方により横断抑止柵が支障になる場合、可動式にしなければならない【コンサル】

- ・可動式の柵にした場合の強度は、どうか。

⇒強度は保てる。維持管理を考慮すると可動式部は最小限にすべきだが、広場の使い方が必要となれば管理所管と協議していく【北区】

- ・タクシープールの中央にヤグラを置くと、踊りの輪の大きさはどれくらいになるのか。

⇒形は変わるが交通島の面積が同程度なので、ほぼ同じ大きさになる【北区】

- ・盆踊りについては、ここで意見を聞くよりも、主催者側の意見として、どのように対応してほしいのかを聞くべきだと思う。

- ・再開発ビルとの位置関係から見て、にぎわいの空間は離れた方が良いのではないのか。

◆B班における意見のまとめ

①駅前広場について

- ・全般的な見直しが必要とのご意見があった。

②盆踊り等について

- ・実際に利用する主催者側から意見を聞いて決めるべきとのご意見があった。

-----閉会：駅西ブロック副部長あいさつ-----

色々なご意見をいただきましたが、耳を傾けないというわけではなく、全ての意見をお聞きして善処することは不可能なことをごぞいます。

回数を重ねながら進めていき、より良い方向に進んでもらえればと思います。

本日はありがとうございました。